



家族との連絡方法

NTT 災害用伝言ダイヤルサービス
大災害発生時に提供されるサービスですが、毎月1日・15日に体験利用が可能です。

伝言の録音 → 伝言の再生

☎171 (ガイダンスが流れます)

1

市外局番
+自分の電話番号



NTT 災害用伝言板 (Web171)

インターネットを利用して安否確認を行なう伝言板です。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

Google Person Finder



大災害発生時にGoogle社が提供する安否確認のWebサイトです。

<https://google.org/personfinder/japan>

地震発生直後

落ち着いて、まずは自分の身を守りましょう。

●危険物から離れる

窓ガラスなどの割れたりするもの、倒れたり、中のものが飛び出しそうな棚などから離れてください。



●落下物から身を守る

机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして、頭や手足を守りましょう。

落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込んでください。



●出口を確保する

ドア付近にいる人はドアを開け、出口を確保してください。



●揺れが収まるのを待つ

安全を確保して、揺れが収まるのを待ちましょう。

神大防災メモ

- 学内の建物はすべて耐震対応措置をしています。
- 建物の倒壊はありませんが、落下物に注意しましょう。
- 学内はすべてのガラスに飛散防止措置が施されています。

インターネットや電話回線が使えない場合に備えて

●オフラインで使える防災アプリ等

災害時に役に立つスマートフォン用アプリの中でも、オフラインでも使えるものを予めダウンロードしておきましょう。

●公衆電話等の活用

災害発生時は、携帯電話に比べて公衆電話の方がつながりやすいといわれています。また、非常時にはコンビニエンスストア等でも非常用電話が設置されるので、重要な電話番号は手帳等にもメモしておきましょう。



●ラジオ等で正確な情報収集を

インターネットや電話が繋がらなくても、ラジオやテレビ等で、正確な情報収集を行いましょう。



身近なものを活用して停電や断水時の備えを

大地震に伴い、生活インフラに被害が出ることが想定されます。

電気やガス、上下水道が使えない場合に役に立つ情報を調べておくと便利です。

【例】懐中電灯とポリ袋を使った簡易ランタン



材料 懐中電灯、白いポリ袋、ハサミ

懐中電灯にかぶせた白いポリ袋の持ち手を、懐中電灯に結び付けます。

※防災ブック「東京防災」(東京都作成)より



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておくと便利な物

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭も) | <input type="checkbox"/> 学生証 (免許証なども) |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> アドレス帳 |
| <input type="checkbox"/> タオル・ばんそうこう・包帯 (家族・友人の連絡先を記入) | <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 雨具 (カッパなど) |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめなど | <input type="checkbox"/> 携帯充電用USBケーブル |
| <input type="checkbox"/> 眼鏡・コントクト | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン |

その他非常に必要な物

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> リュック |
| <input type="checkbox"/> 卓上クロロ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 |
| <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート | <input type="checkbox"/> 携帯トイレ |

memo

※記入は油性のペンを使用してください。

もしもの時にあなたの身を守る

大地震 対応マニュアル

—— 地震にそなえて ——



日頃の備え・連絡先

災害が発生したら

KU 神奈川大学
KANAGAWA UNIVERSITY

大学からの緊急情報発信

安否確認の実施

大地震が発生した場合、本学は学生、教職員の安否確認を行います。

大学から安否確認メールを受信した場合は、速やかに回答してください。

緊急時のお知らせは

神奈川大学緊急情報ページを確認してください。

<https://emergency.kanagawa-u.ac.jp/>



キャンパスから20kmの地図



地震発生後の対応フロー

地震発生 身を守る

本当に安全? その場所は

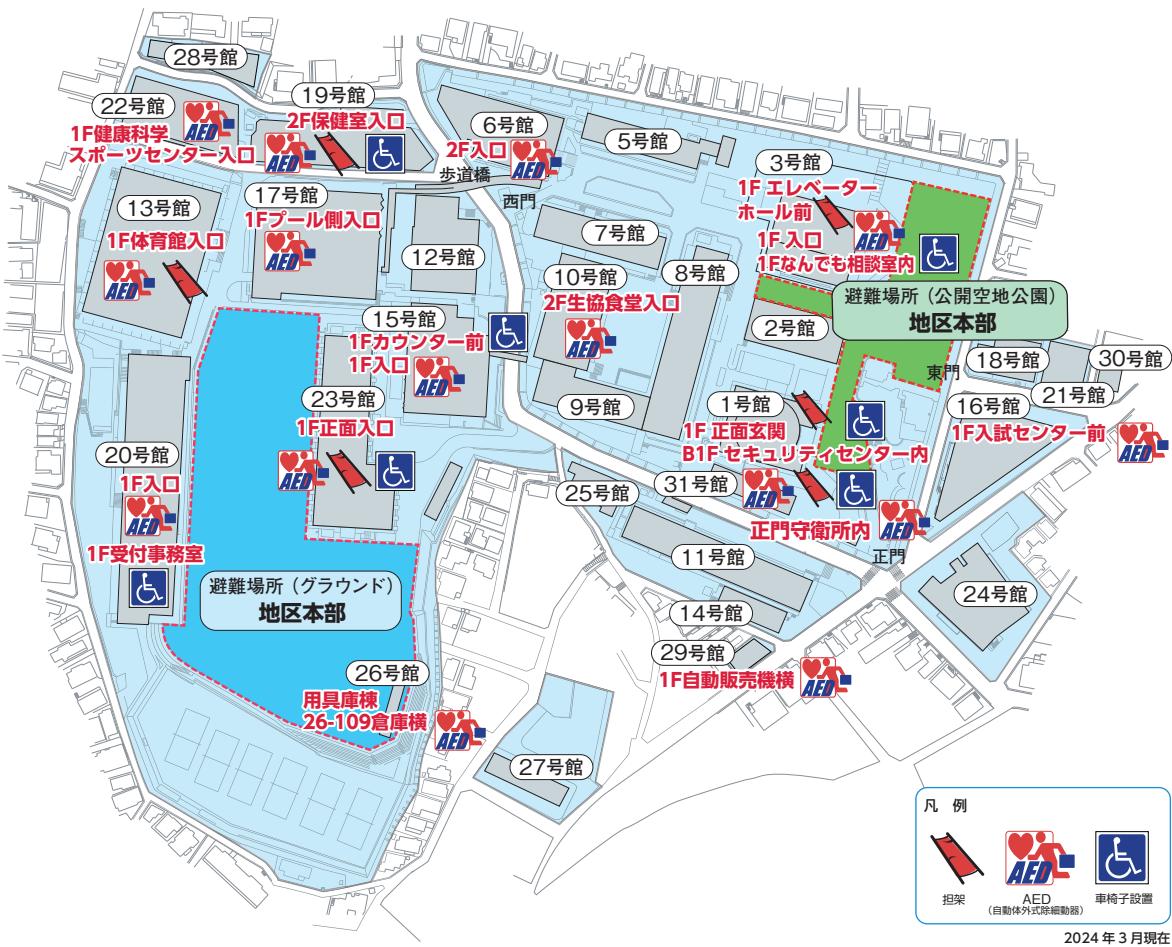
YES その場所を勤かない NO 避難場所へ避難

家族との 安否確認

自宅に歩いて 帰れる?

YES 自宅へ NO 避難場所へ

大学へ 安否連絡



地震のこころ構え —いざというときに—

災害時にはスマートフォンやPCが使えない場合もあるかもしれません。インターネットが使えない場合も想定して、準備しておきましょう。

- 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。(大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待合せ場所を決めておきましょう。

- 通学経路やよく利用する駅周辺等の公衆電話の場所を確認しておきましょう。
 - 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、周りの状況を確認し、その場にとどまるか、帰宅するかを判断しましょう。 (自安)
 - 日没後の行動は危険で夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けましょう。

月	日	日の出	日 没
3月20日		05：45	17：53
6月20日		04：25	19：00
9月20日		05：27	17：41
12月20日			
12月20日		06：16	16：11

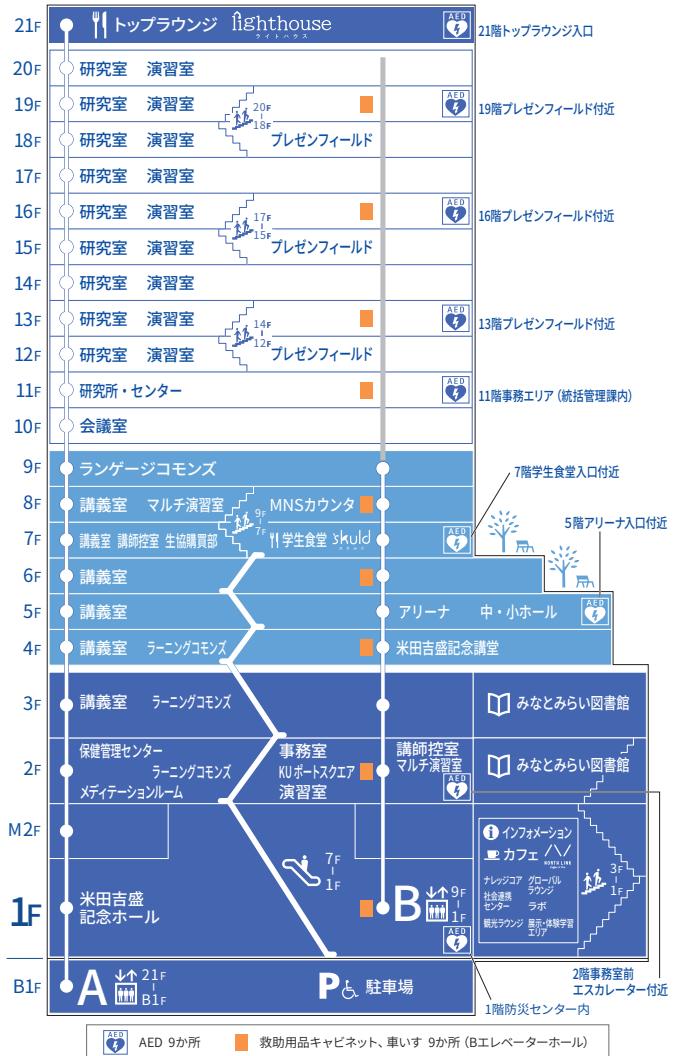
災害時帰宅支援ステーションについて

災害時帰宅支援ステーションでは、①水道水の提供②トイレの使用③地図等による道路情報、マジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲で協力していただけることになっています。

コンビニエンスストアや飲食店等、ガソリンスタンド等、右のステッカーが目印です。



みなとみらいキャンパスフロアガイド (〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目5-3)



地域防災拠点や緊急避難場所・避難所について

横浜市では、指定避難所（地震により住家を失い、生活できない方のための避難所）の機能と在宅被災生活者向けの物資・情報供給、住民による救出・救護の拠点としての役割を持たせた「地域防災拠点」を、震度5強以上 の揺れを観測した場合に開設します。

横浜市の
地域防災拠点

横浜市の指定緊急
避難場所・指定避難所

